

2012年4月23日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 NPO小平ハートピア

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現が「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

平成23年度おハートまいいふ、おまいいゆーく事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

障害者権利条約批准に向けて、日本の障害者福祉は大きく変わろうとしています。当事者、家族、市民と一緒に、一人ひとりが自分らしく前向きに生きることができ、強みを引き出し弱みを消して、社会参加とソーシャルインクルージョンを理念とする新しい社会モデルを創り出します。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- ① 障害者権利条約の学習会 英文・和訳の両面から障害者の権利とは何か、権利擁護とは何か、さらに他市の条例化を学び、小平市での条例化を促進します。
- ② ドラッカーマネジメントの学習会 ワークブック「実践オラトラー(思考・行動・チーム編)から、強みを生かし成長をあげるセルフマネジメントの実践を学び、社会参加に向けた問題解決力を育てます。
- ③ 認知行動療法 の学習会 認知行動療法の実践学習により、自分の考え方のとらえかた、スキルに気づき、行動活性化、新しい習慣化により、心の問題を解決力を育てます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ① 障害者権利条約の講師に地域外国人を起用。学習メンバーに、社会事業大学大学院の学生(当事者)や小平社協の職員なども参加し、権利の基本的理解を進めました。
- ② ドラッカーマネジメントの学習教材に上田博生監修の実践ワークブックを活用。思考編、行動編を終了。成果をあげるマネジメントを他人のセルフマネジメントに応用しました。
- ③ 認知行動療法 の講師に国立精神神経医療研究センター病院の若手心理療法士の先生を起用。初級編を終了、次年度は中級編に進む予定です。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

- ① 3つの連続講座は新しい社会モデルを創り出そうと、相互に戦略的役割を担っています。権利条約は新しい社会の法制度、ドラッカーマネジメントは障害者の弱みを消す新しい社会の仕組みづくり、認知行動療法は自己ケアと問題解決機能を果している。世界から学ぶことはまだまだ沢山あります。
- ② 条例化を念頭に、社協、市議会、地域の大学などとの連携を進めたいと思っています。
- ③ いま、日本の福祉は当事者主権、ニーズ中心の次世代型福祉への転換期にあります。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



すぺーすまいらいふ&まいわーく



障害のある方もない方も自ら考え、自ら行動し、成果をあげる生き方について一緒に学んでみませんか

①心の実践的マネジメントを語り合う連続学習会（第1水曜）

7月6日（水）10時～12時 第2回「選択と集中について」

場所 福社会館第3集会室 成果を上げる人とあげない人がいます。

選択と集中は勇気と覚悟の結晶ともいわれます。もしドラ”ドラッカー先生の「マネジメント実践」（選択と集中する力）を学んでみませんか。

②英文障害者権利条約を読もう10回講座（第2金曜）

7月8日（金）19時～21時「なまの英文で障害者権利条約を読もう」

場所 元気村市民活動支援センター会議室（第3回）「第3条一般原則」

Inherent dignity, Autonomy, Independence, Non-discrimination, Inclusion in society など、障害者権利条約をなまの英文で学んでみませんか。いま

日本の障害者福祉は障害者権利条約の批准に向けた流れにあります。

世界の常識と日本の常識とのギャップをまざまざと知ることができます。

講師 デズモンドT.ベル氏（Thomas Bell English Centre 代表）

③認知行動療法連続講座6回講座（第3水曜）

7月20日（水）10時～12時 「認知行動療法実践編」（第2回）

場所 福社会館第3集会室 気持ちは考え方に影響されるといいます。

認知行動療法はこれからどうしたらよいかに主眼をおく未来重視の心理療法といわれています。自分の気がつかない思い込みやとらわれに気づき、認知再構成法とさらに問題解決法の実践を体験してみませんか。

講師（独）国立精神神経医療研究センター病院リハビリテーション部

心理療法士 稲森晃一氏

①～③とも定員10名、参加費無料、8月はお休みです。

主催 NPO 小平ハートピア

後援 小平市社会福祉協議会

* この事業は真如苑市民活動公募助成事業です

申込み・問合せ：NPO 小平ハートピア Tel・Fax042-401-8833（永瀬）

メール：heartpia@wish.ocn.ne.jp

